

楽学ニュース

【編集・発行】

特定非営利活動法人

あだち学習支援ボランティア「楽学の会」

【事務所】早坂 津夜子 方

〒120-0001 足立区大谷田 3-1-15-203

ホームページ <http://gakugaku.web.infoseek.co.jp/>

足立区近藤やよい区長と面談

～ あだち区民大学塾事業の成果報告 ～

6月24日(火)午後2時30分より足立区長室にて、早坂代表、小林、田中、江川、緑川の5名が教育委員会の中川生涯学習課長、本間係長とご一緒に、主に「あだち区民大学塾」事業について区長からのヒアリングのため面談をいたしました。

進行は区長の質問に答える形で行われ、われわれが持参した、大学塾関連記事、会の活動状況を記載した楽学ニュースやホームページ資料にも熱心に目を通され、講座内容について、開催時期、対象者、講師選びなど、多彩な事業運営の細部にわたり質疑がありました。そして、にこやかに矢継ぎ早に話される区長に、われわれも会員が活動へ参加するための日頃の工夫なども交えながら率直な応答をいたしました。

新しい形の学習支援ボランティア団体として、これからの協働の在り方や活動の現場についての話に、ひとつひとつ丁寧にうなずいて頂き、当会員の活動意欲を高める上でも絶好の機会となりました。

(広報部)



6月月例会報告：テーマ 「諮問事項に関する答申」

6月27日(金)午後7時より会員31名が出席して、月例会が行われました。今月は、「諮問事項に関する答申」の内容説明が、北川委員よりありました。本答申は、諮問委員7名により1年2ヶ月にわたり検討し、議論された結果であります。(19年10月に中間答申実施済み)

諮問事項は、以下の4項目についてです。

1. 人材育成のための仕組みづくり
2. 事業運営のための人材配置
3. 会の組織と事業について
4. 事業型 NPO 法人への展望と提案

答申の内容については、別添の諮問事項に関する答申を参照願います。(月例会で配布済み資料)



答申の説明後、活発な質問・各種意見がありました。今後の進め方は代表が先きに提案している通り、プロジェクトを立上げ、今回の質問・意見を含め早急に検討することになりました。

次に各部局からの報告、提案があり、午後9時に終了しました。

なお7月1日付運営委員会にて、諮問会議答申の具体化に向け「楽学の会事業計画委員会(仮称)」が設置され、20年度委員に江川、安田、田中、岡田、金子、石田、今野(敬称略)が選出されたことを追記します。

(ボランティア活動推進部)

平成20年度あだち区民大学塾第2ステージ開催報告

実録「鬼平」講座～鬼か仏か長谷川平蔵の生涯～

6/28,7/5,12,19各(土)計4回、元朝日新聞社会部記者佐々木明氏を講師に研修室4にて開催された。応募者は52名に達し、22名の抽選を漏れた方を対象に急遽同じ内容で9/27よりパート2を実施することになった。小説、ドラマの鬼平でなく、史実に基づいて展開した講義内容は解りやすく、実像の平蔵を学べたという感想を大勢の方に頂いた。また、「大判を初めて触ることができた!」「將軍家からの見舞いに賜った殿中の秘薬ケイギョクを試飲した!」というサプライズもあり、座学最終日は全員で記念写真を撮るなど大いに盛り上がり終了した。現地学習は役宅跡、富岡八幡宮、石川島の人足寄場等を江戸の古地図でそれぞれが江戸人、鬼平になりきって歩き、深川めしを食べたりと、どの顔も皆さん満喫した様子であった。暑い中の現地学習を無事安全に終了できスタッフの皆さんもご苦労さまでした。



(田中国弘)

~~~~~

### 外国人のための日本語講座

#### 平成20年度 日本語講座(前期)

外国人への日本語講座(前期)は、毎年12月に行なわれる日本語能力試験(3級)を受験する外国人を対象に、7月2日、9日、16日の毎水曜日の夜7時から9時までの3回開講しました。

応募者は7名でしたが、実際の受講者は6名で、外国人の方が働きながら日本語のレベルを上げるということは並み大抵のことではないと毎回実感させられます。ただ、昨年参加した人が今回3名も受講しかつ、友人を連れてきてくれたことは、継続して講座を実施することが外国人たちのあいだに講座が広がる第一の方法と再確認しました。

講座内容は、過去に出題された問題を取り上げて、受講者が設問の内容を正しく理解して問題に答えられるように、小川講師がそれぞれに丁寧に解説を加えながら正解を伝えていました。

最後に、11月に開講する日本語講座への受講者の希望を聞いて、小川講師の熱意と好意に溢れた3日間の講座を終了しました。



(原田進)

## あだち区民大学塾第2ステージ(パート2)並びに受託講座開催案内

第2ステージパート2並びに受託講座が下記の通り実施されます。会員の皆さん、協力し成功させましょう。大学塾講座運営スタッフ・受託講座スタッフへの参加をお待ちします。

申込先:事務局 電話・FAX 03-5813-3759 平日1時～5時

E-Mail: takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp (ボランティア活動推進部 江川武男)

(8月は楽学ニュース休みです)



|      | 講座名                                       | 講師                                   | 実施日                                        |
|------|-------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1    | 「伝統芸能・能面と能面文化」<br>～あだち周縁地ゆかりの能舞台・隅田川～     | 面・雪月花院代表主任<br>荒 昌二郎 氏                | 8/27,9/3,10<br>毎(水)午後7時～9時                 |
| 2    | 「藍水と江戸の科学者・技術者たち」<br>～千住所縁の濫水は平賀源内の師匠だった～ | 安藤昌益の会事務局長<br>石渡 博明 氏                | 9/22,29,10/6<br>毎(月)午後7時～9時                |
| 3    | 実録「鬼平」講座(パート2)<br>～鬼か仏か長谷川平蔵の生涯～          | 元朝日新聞記者<br>佐々木 明 氏                   | 9/27,10/4,11,18<br>毎(土)午後2時～4時             |
| 4    | 「薩摩琵琶 de 平家物語」                            | 鶴田流 薩摩琵琶 奏者<br>櫻井 亜木子 氏              | 10/3,17,24<br>毎(金)午後2時～4時                  |
| 受託講座 | 生涯学習センター ネットワークセミナー<br>「どうなる!これからの社会保障」   | 聖隷クリストファー<br>大学社会福祉学部<br>前教授 中野 英子 氏 | 9/5,12,19<br>毎(金)午後7時～9時<br>8/29 スタッフ事前打合せ |

お詫びと訂正:132号掲載「論語」講座文中 元教育委員長佐々木一彦氏 元教育長佐々木一彦氏です。

## 学習センター講座運営ボランティア報告

団塊世代の地域回帰推進事業

### 気軽に体操・カラダづくり

団塊の世代向けの講座は6~7月に土曜日を中心に7回行われた。そのうちのひとつ最終回に開かれたカラダづくりについて報告する。

7月19日2時からエアロフィットインストラクターの谷春代氏をメインに同じく倉持優子氏をサブに講座は開催された。若い人?それなりに若い人等44名の受講者で盛況であった。体の柔らかい人、硬い人も講師の指導で皆さん一生けん命に頑張りそれなりにできた、もうひと頑張りだ、といろいろ反応を見ているだけで楽しかった。

今日だけでなく帰られてもこの気持ちを持ち続けたいと思い、この一連の講座の最後に楽しい気分になれて7講座のボランティアを終わった。

(石田佳久)



東京から考える温暖化

~ヒートアップする都市~

標題の区民カレッジが7月3日~17日(全3回)開催された。

講師は特にヒートアイランドに関する研究成果が新聞、TV等で多数報道され活躍中の首都大学東京名誉教授三上岳彦氏。高温化する東京都心、ヒートアイランド現象のしくみ、足立区江北が42°Cだった日、メトロシステム、緑とエコで涼しさを呼ぶヒートアイランド対策などをご自身出演のTV番組のビデオ等を使つての講義で受講者を引きつけた。

気をつけよう夜中の脱水症状。洞爺湖サミットで地球温暖化が議論された時期のタイミングのよい講座であった。参加者36名。運営ボランティア8名。

(鈴木良夫)



### 北京故宮・書の名宝展

NHK連携講演会は7月13日猛暑の中、書の愛好者が講堂一杯に集まり盛況のうちに開催されました。

唐・宋・元の時代の書は、長らく海外への持出しが禁じられていたそうですが、日中平和友好条約締結30周年・江戸東京博物館15周年の節目によりようやく日本で王羲之「蘭亭序」はじめ黄庭堅「諸上座帖」、蔡襄「行書自書詩卷」など65の書の名宝が初公開されることになりました。



書の歴史、皇帝、貴族の収集の逸話、書の特長や観賞の仕方など映像をもとに終始熱き心がほとばしる講演で参加者も満足された様子でした。運営ボランティア7名もともに楽しむことができました。

(荻野久子)



知れば楽しい! ボランティアの“コツ”教えます【生涯学習ボランティア養成セミナー】

運営スタッフ・受講者募集!!

「ボランティアについて考える」

「社会教育施設ボランティアの魅力と

その可能性」

・日時 9/13(土) 13時~17時

「生涯学習社会とボランティア」

「学習情報の提供と相談による学習支援」

・日時 9/20(土) 13時~17時

「学習ボランティアのすすめ」

「こんなこと実践しています・活動事例報告」

楽学の会担当講師:石田佳久、今野君江

・日時 9/21(日) 13時~17時

講座担当者(センター) 分野・磯谷

会場 生涯学習センター 研修室1

スタッフ人数 各回4名 延べ 12名

当講座は「楽学の会」として一括して運営スタッフの募集まとめを行います。

申込先:事務局 電話・FAX 03-5813-3759

平日1時~5時

E-Mail: takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

(ボランティア活動推進部 江川武男)

# 学びの場 再発見！

～ 中川の歴史を背景に

## 佐野地域学習センター～

佐野二丁目 43 番 5 号 3628-3273

6月13日(金)午後2時から1時間余り、同センターを訪問した。今回の参加者は広報部の、石田、尾島、安藤の3人に大谷田2丁目にお住いのボラ部南協子さんの4人。応対して下さったのは副所長小林隆広氏。建物は3階建。1階区民事務所、住区センター、2階地域学習センター3階が図書館の複合施設。建物の全体管理と地域学習センター業務を指定管理者と遂行されている。

施設としては教室(第一第二)レクホール(防音)教養室(和室)体育館と揃っていて多方面ニーズ対応ができる。特に和室の切り下げ炉は茶道に最適、レクホールもバレーパーや鏡が設置される予定である。



### \* センター運営について

小林氏が熱く語ってくれました活動内容などは概ね次のようなことでした。

1. 足立区共催、ハート&ハート実行委員会主催、福祉まつり、「ハート&ハート」を毎年6月初旬頃に開催。心身に障がいのある方と健常者との交流を目的に開催され、今年も延べ2,580人の来場があった。
2. 足立区立第十二中・十三中の生徒を対象に福祉のボランティア講習会を毎年開催。車イスの体験や手話の体験を行っている。
3. 1日発行のミニコミ紙「REST」では、毎月お題を決めて川柳を募集している。佐野センターをはじめ、花畑、保塚、伊興センターでも投稿が可能。当選10句は「REST」に掲載される。選者は小林副所長。利用者の方々との相互関係をより密なものにしていきたいということから始めたという。
4. 「REST」の表紙絵を利用者の方々より広く募集している。イラストを描いてくれるのは子供たちが中心。投稿された絵の中から一枚を採用し見事表紙を飾る。
5. 「REST」は毎月およそ400部発行。センター近隣の銀行、郵便局、スーパー、各住区センターなどに設置している。

\* 施設がこれから目指すもの。施設を通して区民に伝えたいことなど。

1. 地域学習センターで何を行っているのか、何をすることが出来るのかをより一層、地域の方々にPRしていきたい。
2. 若者向けの講座を企画し、若い人達をセンターに呼び込みたい。現在、ギター教室などを企画予定とのこと。
3. 現在の登録団体(サークル)は約40団体。体育館は、バドミントン、ビーチバレー、体操など利用は多いものの、他施設の利用率は満足できるものではない。センターで実施した講座から定期的に活動を行うサークル化へ。魅力ある企画作りに腐心している。教室参加者に「どんな講座に参加してみたいか」などのアンケートを実施している。

### \* センター周辺のお勧めスポット

- (1) 葛西用水路の桜
- (2) 郷土博物館
- (3) 佐野いこいの森
- (4) 中川土手の散歩コース
- (5) 桁川にそっての散歩コース



### \* 営業時間9時から21時30分

休館日原則第二月曜。後は条例による所定休日。

### \* 交通機関

- (1) 亀有駅から東武バス六木都住行き辰沼団地下車
- (2) 東武バス八潮駅北行き佐野センター下車

(広報部 石田、尾島、安藤)



神明水の森公園の風車

### (参加者の感想)

近くの用水の歩道は、春夏秋冬を問わず、多くの人々が利用している。

向かい合う小学校は30年前に小学生の急な増加に合わせて設立されている。

冬場でも青い野菜畑が広がり、牛舎も有る、遠くに山々を見渡せる、のどかな田園風景はまさに故郷でした。急な人口増加で見知らぬ人々の輪をつなぎ親しめるためのメニューを佐野センターは用意し、昼夜、老幼にも行き届いたコースをもサポートしています。事実、現在まで引き継ぐお祭りのイベントはしっかり定着して活躍をしています。親子体操に通うのに、早速自転車を使いました。近くが大変嬉しいのです。

(南 協子)

# みんなの 広場

みんなの広場は、会員の憩いの場です。 毎号スペースを設けます。  
自由気軽に、趣味、生活の知恵、心に残った言葉などを寄稿してください。  
300字以内、mail またはFAXでお送りください。  
送付先は相馬まで。電話:FAX.03-3889-8202  
Email:yoshi.soma@viola.ocn.ne.jp

## 静かな後継者選出

先日、ある中学校に用事があり体育館を覗いた時のことです。運動着で女子生徒が車座に座り、全員頭をたれ目をつぶっていました。暫く見ていて、どうやら次期キャプテンを決めているらしい。部長らしい生徒が真ん中に出て、「これから次期キャプテンを決めたい、部員全員の名前を順番に読みあげるの、じっくり考えて、この人になって貰いたいと思ったら今の姿勢のまま1回だけ手をあげて貰いたい。基準は 皆の為に働いてくれる人 その人の為なら協力できる人 思いやりのある人」。選挙は静かな中で行われ、一番拳手が多かった人の名前が報告されて次期キャプテンが決まった様だ。

ややもするとどんな団体でも後継者を決める際にはいろいろな事情で決まらないのを見聞しています。「出たい人より、出したい人を」子供達に教えられたようで、久々に気持ちが晴れ、すがすがしい思いで帰ってきました。

(小林弘道)



## 環境学習

7月14日(月)、15日(火)に、玉川学園で小学生5年生を相手に20人のボランティアで環境学習を行いました。各クラスでアクティビティ(全部で7種類)をやり、中継をはさんで自分の振り返りと仲間の話し合いによる振り返りのプログラムです。私は、50mlの水で100gの砂糖を生徒に溶かしてもらい、水の溶かす性質に結び付けて酸性雨について話しました。振り返りでどの生徒もアクティビティの実験が面白く水や環境の大切さがわかったと発表してくれるのでとてもうれしかったです。

最後に、5クラス150名の生徒全員で各自が作ったレインステッキでの演奏は映像と一緒に迫力がありました。とても充実した2日間でした。

(安田善英)



## 運営委員会だより

平成20年7月度の運営委員会は7月1日(火)に開催された。議事録をもとに報告する。

### 1. 早坂代表より報告及び提案

足立区長からの要請を受け、6月24日早坂、小林、田中、江川、緑川が区長を訪問、主に大学塾事業についてヒアリング。活動に対し労いと激励を受けた。

諮問会議答申の具現化に向け事業計画委員会を設置し、第1回会議を7月に開催する。メンバーは江川(リーダー)、安田(サブリーダー)、田中、岡田、金子、石田、今野の7名。

「文化ポラ全国フォーラム・東京」分科会は10月31日午前の特別講演会講師に石川英輔氏を交渉中。「大江戸と千住宿」(仮題)。午後は2コースで、パネル討論とワークショップ「講座づくりから文化がみえる」、千住まち歩き。

20年度運営委員の就任挨拶があった。

安藤、石田、石渡、江川、大藤、岡田、尾島、鹿島、金子、木島、北川、小林、瀬田、瀧呑、田中、早坂、福田、緑川、安田(以上19名)。

### 2. あだち区民大学塾の件

< 講座検討会議 > : 7月3日開催。20年度の目標達成の見通しが立ち、21年度の講座企画の立案について協議しレポート講座の選定などを話し合った。次回の

開催は9月1日(月)15時から。

< 講座企画会議 > : 7月11日開催。20年度15講座のうち4講座を終了。いずれも定員超えの応募で好調に推移。「鬼平」講座は抽選、選外者向けに9月再開催を計画。

7月29日「夏休み親子教室」講座を竹の塚地域学習センターとの共催で初めて竹の塚センターで開催する。次回の開催は8月8日(金)15時から。

### 3. 各部局の報告及び提案

< 学習支援部 > : 受託講座「どうなる、これからの社会保障」9月5日、12日、19日開催決定、センターに見積書を提出。

< ボランティア活動推進部 > : 7月29日の月例会は暑気払いを7階「さくら」で開催。

A-net担当は瀬田から江川に変更。

< 広報部 > : 「楽学ニュース」は8月休刊。

HPは7月末更新準備中。8月も更新の予定。

< 事務局 > : 会員名簿を7月1日現在で更新し、全会員に配布。

今後の運営委員会の開催日程

- ・8月1日(金)18時～
- ・9月1日(月)18時～
- ・10月1日(水)18時～

(緑川祥元)



# 生涯学習センター ボランティア情報

Tel: 5813 - 3735 Fax: 3870-8407

[gs@kousya.jp](mailto:gs@kousya.jp)

## Wanted: Volunteers!!

暑中お見舞い申し上げます。最近、夏期休暇も柔軟に設定できるよう変化しているとは言え、車・電車ともにお盆の帰省ラッシュは相変わらずのようで、帰る人も大変ですね。田舎のない私は知人が故郷で数日過ごしてくるのを羨ましく思い、その“知人とお土産”の帰りが私の楽しみとなっています。

さて、今回の募集は盛りだくさんです。より多くの皆様のご協力をお待ちしております。

### \*新規募集のご案内\*

#### ビジネススキルアップ講座

#### 「福祉住環境コーディネーター3級 資格取得支援講座」

日時 8月24日(日) 10時～12時  
活動時間 9時10分～12時30分頃まで  
会場 生涯学習センター 研修室1  
募集人数 2名程度(受付等)  
講座担当者 高柴・山守  
初回のみ募集です

#### 区民カレッジ

#### 西洋美術史講座

#### 「フェルメール～芸術と生涯～」

#### 「ピカソの読み方・楽しみ方」

日時 9/3 9/10 9/17 9/24  
各水曜日 14時～16時  
活動時間 13時10分～16時30分頃まで  
会場 生涯学習センター 研修室1  
募集人数 6名程度(司会・受付・案内等)  
講座担当者 大塚・高橋

#### 団塊世代セカンドライフ満喫講座

#### 「東京の建築を見て歩こう」

講師：齊藤理氏(東京あるきテクト代表)  
・日時 9/7 日曜日 10時～12時30分  
・活動時間 9時10分～13時頃まで

#### 「暖簾の先は極楽浄土」

講師：町田忍氏(銭湯研究家)  
・日時 9/7 日曜日 14時～16時30分  
・活動時間 13時10分～17時頃まで  
会場 生涯学習センター 研修室1  
募集人数 各2～4名(受付・案内等)  
講座担当者 分野・坂田

#### 区民カレッジ

#### 「江戸の食文化と娯楽」

日時 9/10 9/17 9/24  
各水曜日 19時～21時  
活動時間 18時10分～21時30分頃まで  
会場 生涯学習センター 研修室1  
募集人数 6名程度(司会・受付・案内等)  
講座担当者 坂田・高柴  
申し込み方法

生涯学習センターに直接、電話・eメールなどでお申込みください。その際は、「運営ボランティア申込み」とお申し出ください。

#### 申し込み締切り日

「福祉住環境」 8月10日(日)  
「西洋美術」 8月20日(水)  
「団塊講座」 8月20日(水)  
「江戸文化」 8月27日(水)



### 楽学インフォメーション 会合のお知らせ

#### 運営委員会

8月 1日(金) 6時～8時 ワークルーム  
月例会

8月なし

9月26日(金) 7時～9時  
ボラ活部

8月 7日(木) 3時半～ ワークルーム  
9月 9日(火) 2時～4時 ワークルーム

#### 広報部

8月 7日(木) 4時～ ワークルーム  
9月 5日(金) 3時～5時 ワークルーム  
9月19日(金) 3時～5時 ワークルーム  
9月26日(金) 3時～5時 ワークルーム

#### HP企画会議

9月28日(日) 3時～5時 ワークルーム

#### 事務局

8月13日(水) 3時30分～ ワークルーム  
9月10日(水) 2時～4時 ワークルーム

#### 学習支援部

8月 8日(金) 6時～8時 ワークルーム  
9月 4日(木) 6時～8時 ワークルーム

#### 講座検討会議

9月 1日(月) 3時～5時 研修室4

#### 大学塾企画会議

8月 8日(金) 3時～5時 研修室4  
9月予定は8月8日会議で決定します。

### お問い合わせ&ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 緑川祥元 電話：03-3898-7753

E-Mail: [midorikawa@cap.ocn.ne.jp](mailto:midorikawa@cap.ocn.ne.jp)

ホームページに関するご意見・ご提案

ホームページグループ：田中国弘

電話：03-3856-9290

E-Mail: [ku-tanaka@asahi.email.ne.jp](mailto:ku-tanaka@asahi.email.ne.jp)

#### 編集後記

今号は情報満載でページ数を増量との意見もありましたが、いつも通り6頁でおさめました。

今期大学塾は当初より定員オーバーが多く、秋口に「鬼平」講座を再び開催すること。新聞2社の取材が入り、内1社は現地取材に同行しました。足立区長との面談では大学塾事業についてのヒアリングで感激。

“さらなる発展と、充実を” なお、8月は休刊です。

(尾島美津江)